

令和3年度、第2回豊川市内病院看護管理者会議事録

日時：令和3年10月21日（木）11時～12時

場所：豊川市医師会館小会議室（オンライン併用）

1.出欠確認

出席者9名（うち1名オンライン）

欠席者3名（国府病院・共立荻野病院・信愛医療療育センター）

司会：さくら病院 高橋会長

2.新規会員

豊川青山病院 小林千鶴看護部長

3.報告事項

①豊川コロナ連携会議より

佐藤副会長：会議の設立目的や会議内容についての報告を行った。

8月より会議が開催され、看護管理者会から会長、副会長が出席している。会議は市内の医療情報集約による円滑かつ迅速な地域連携・異常の早期発見、重症化予防を期待して開催されており、医師会・歯科医師会・薬剤師会・社会福祉協議会・関係事業者連携協議会・豊川市民病院・豊川保健所・豊川市役所・保健センター等の代表者が出席している。

毎回、保健所や市民病院から提示される感染者の情報やワクチンの接種状況、医師会を始め、各代表者からの問題提議や確認などの意見交換が行われていることなどを報告した。（最新データは資料として配布）

豊川市民病院：中尾看護局長

市民病院ではカクテル療法をやっていくことになった。1日4人迄対応できるが最初は平日の日勤で開始できる方から始めている。慣れて来て状況が許せば夜間も行う方向で準備している。1日又は2日の入院で対応する予定だが、今後の感染状況によってベッドに空きがないと対応出来ない可能性がある。対象が発症から2週間以内である為、実施できる方が限られるが、中等症の方もカクテル療法後2日くらいで在宅に戻られている。

事務局から：10月に実施したコロナウィルス感染後の患者受け入れについて、6月時点の8施設から9施設に増えた。コロナ感染症に関する理解や施設での準備が整ったことが要因と考えられる。

②配布資料の確認

4.検討事項

①市内合同研修会について（研修要綱案参照）

前回からの検討事項である合同研修会開催について各施設の状況や考えを確認した。

- ・中小病院だとクリニカルリーダーもなくて、管理者になってしまった時、このような場があると機会になる。講師になって話すのも学びの機会になる。出席にあたっては検討が必要。
- ・小規模病院で病欠もある。ここ数ヶ月のやりくりも大変な状況だが、スキルアップを望ん

でいる方もいる。20代～40代は仕事もしたいけど研修会に参加もしたいとの意見がある。

- ・名古屋に行くのは大変だけど研修はしたい。

- ・現状は厳しい。教育に対する意識も高くないが育成をするようにしなくてはならない。参加することで変われると良い。

- ・是非、やって頂きたい。私自身ファーストレベルに行く機会もなくやって来たが、若い方も出席出来ていない。興味は持ち始めている。管理者としても情けない。近くでやって貰えると良い。

- ・前職では研修を受けてきたが、今はその機会がない。主任たちも何も学んでいないので頑張ろうと言っても伝わらない。あまり、ハードルを上げずに豊川市内でやって貰えると良い。

- ・研修も出来ず、外部研修も受けていない。研修が無いからここに就職したという人もいる。

- ・師長は外部研修を受けている。主任はコロナの影響で外部に出すことも出来なかった。院内では実施していたが、外部とコミュニケーションが取れると良いと思う。ただ、主任クラスを対象に看護管理研修を行うと言っても幅広いので、どこにフォーカスすると良いのか、

- ・職員数が多いと全員が出られるわけではない。院外研修の講師としてやらせてもらうのも若い主任たちには学びになる。レディネスをどのあたりにするかも考える必要がある。

- ・最初は顔合わせくらいからやっても良いのではないかと、地域課題を知って貰う機会になる。管理に関する短い講義の後でグループワークを行うなどはどうか、一度に参加出来ないようなら、少人数で何度か分散する方法もある。

結果)

対象は主任クラスとする。内容は来年実施に向けて検討を進める。

看護協会の管理者研修受講者・認定看護管理者も複数存在するので、講師を依頼する。

テーマも看護協会の管理者研修から選択する。

看護管理者会メンバーは会の運営・方法に主体的に関わる。

合同研修に関するアンケートは12月25日締め切りで実施する。対象者は各施設の判断に任せるが主任レベル相当の方とする。

②災害時（コロナ含む）対応について 資料参照

看護協会東三河支部：中川看護部長

災害時における看護職派遣体制「地域災害応援ナース」について説明。看護協会に加入していない場合も登録することができ、地域に限局した自然災害又は感染症発生時において被災医療機関を地区支部単位で支援する看護師のこと。説明会を予定しており、電子@連絡帳で広報する予定。

5.看護協会から

ACP研修会についてのご案内。11月7日（日）13時30分～15時、会場とオンライン併用で開催する。席に余裕があるので、申込をお願いします。

6.その他

①医師会の先生方から、要望があるクリニックの看護師に管理者会に参加してもらうこと

について

希望があれば、お断りする事ではないが、話が合わない可能性がある。年に1度くらい共通課題で開催するのは可能だと思うが動向をみて考えていく。

②次年度の役員について

次回に向けて、検討を進めて行きたい。

役員をすることで学ぶことは多くあったので、持ち回りでも良いと思うがどうか、電子@連絡帳上で意見交換を進めて行きたい。

②コロナ禍における面会について現状を知りたい。

さくら病院：面会は制限中。現場が始めた事だが、洗濯物を取りに来られる家族に向けたメッセージ（患者の日々の状況を伝える内容）を洗濯物に付けている。看取りや家族指導が必要な場合は面会している。

後藤病院：面会は緩めていない。OPの前後2人迄5分以内の面会は行っている。

豊川青山病院：平日の15時～16時の間、予約制で面会を許可している。2人迄で5分間、アクリル板越しでフロアーで面会して貰っている。

宮地病院：面会は原則中止だが、OP後に家族1名5分の面会は出来る。

タチバナ病院：月に1回、予約制で5分間の面会を許可している。

総合青山病院：面会は基本的には中止だが、個々の状況やケースによって判断している。やり方も色々で現場が判断して実施している。

豊川市民病院：面会は制限中。今後検討していく予定。

以上で会議を終了します。